

主題：ローマ人への手紙第5章から第8章——聖書の核心

メッセージ 11

命の義認

聖書：ローマ1:17. 3:22, 24, 26. 4:2-3. 5:10, 17-18, 21. 8:10-11.

使徒13:39. ガラテヤ2:16, 20

- I. ローマ書第5章18節は、「命の義認をもたらす [に至る] 一度の義なる行為」を述べています：
- A. キリストが十字架上で死なれたという義なる行為は、命の義認という結果になりました——18節：
1. 21節は、恵みは義を通して王として支配し、永遠の命に至ると言っています。
 2. 18節と21節が示しているのは、命が義という結果をもたらすということです——8:10。
- B. 義認はそれ自体が目的ではなく、命のためです——5:18：
1. 命は神の救いの目標です。ですから、義認は「命のもの」です——18節。
 2. 義認を通して、わたしたちは神の義の標準に達し、それに応じてきました。それによって、神は今わたしたちに彼の命を分け与えることができます——8:11。
 3. 命に至る義認が示すのは、命がローマ書第5章の焦点であることと、命の有機的結合が義認の結果であるということです——ヨハネ15:4-5。
- II. 義認は、彼の義の標準にしたがって、わたしたちを是認し、わたしたちを義と宣言する神の行為です——ローマ1:17：
- A. 義認は神の全体的な救いにおいてかぎとなる項目です——3:24, 26. 8:30, 33。
- B. わたしたちが罪（複数）の赦しと罪を清め去ることを得た後、神はわたしたちを義とする地位と立場を持ちます——エペソ1:7。
- C. わたしたちは神によって義とされている者たちとして、わたしたちの義としてのキリストを持っています——I コリント1:30。
- D. わたしたちに対する神の義認は、彼の定められた御旨の成就のためです——エペソ3:11. II テモテ1:9。
- III. キリストにある信者は、神によって客観的に義とされています——ローマ3:24：
- A. 客観的に義とされるとは、外側で、地位上、義とされることです——使徒13:39。
- B. わたしたちは無代価で、神の恵みにより、キリスト・イエスにある贖いを通して、義とされます——ローマ3:24：
1. 恵みとは、無代価で、神から与えられもの、神によって行なわれることであり、それは神の愛の表現、現れです——II コリント13:14。
 2. 神はご自身の恵みによって、わたしたちを義とします。ですから、恵みは賜物です——エペソ2:7-8。
- C. わたしたちは神の恵みによって義とされますが、わたしたちはキリストの贖いを通

して義とされます——コロサイ1:14 :

1. キリストの贖いなしに、義なる神はわたしたちを義とする立場を持ちません——ヘブル9:12。
2. 贖いは義認の根拠です——ローマ3:24 :
 - a. 「贖う」が意味するのは、本来わたしたちのものであったのに、失ってしまったものを買戻すことです——ガラテヤ4:5. テトス2:14。
 - b. わたしたちは失われており、神の義と聖と栄光に関して、神と多くの問題を持っていましたが、神はわたしたちのために代価を払って、非常に大きな犠牲を払ってわたしたちを再び所有しました——エペソ1:7. ガラテヤ3:13. I ペテロ1:18。
 - c. 神には彼の義によって、わたしたちを義とする義務があります——ローマ1:17。
 - d. 贖いがわたしたちに適用される時、わたしたちは義とされます——コロサイ1:14. ガラテヤ2:16。
3. 神が彼の義によって、わたしたちを義とする義務があるのは、神のすべての要求を満たすキリストの贖いのゆえです——ローマ3:22, 25-26。
- D. 信者として、わたしたちはキリストの信仰によって、すなわち、キリストを信じることによって義とされます——ガラテヤ2:16. ローマ3:26, 28, 30 :
 1. キリストの信仰とは、キリストご自身が信じる者たちの中へと入って、彼らの信じる要素と能力となることです——22節。
 2. キリストを信じるのが義とされる道です——使徒13:39。
- E. わたしたちは、神によって客観的に義とされる時、わたしたちの義としてのキリストを受けます——I コリント1:30。
- F. わたしたちが神によって義とされているという事実は、キリストの復活によって裏付けられています——ローマ4:25 :
 1. キリストの復活は、義なる神が、わたしたちに対するキリストの十字架の死に満足されたという証拠です——I ペテロ3:18。
 2. 復活したキリストの中で、わたしたちは神によって義とされます——コロサイ2:12。
- IV. キリストにある信者はまた、神によって主観的に義とされます——創15:6. ローマ4:2-3. 14:7-8. II コリント5:9, 14-15 :
 - A. 信者は、地位上の義認を通して、神聖な命を受けることによって、主観的に義とされます。
 - B. 神によって主観的に義とされる時は、内側で、性情において、義とされることです。
 - C. 客観的に義とされることは神聖な命を受ける立場をわたしたちに与えます。こういうわけで、ローマ書第5章18節は「命の義認」と言っているのです :
 1. 義認は命のためです。キリストにあって、わたしたちは義とされて、命に至ります——18節。
 2. 義認はわたしたちに外側の地位を変えますが、命はわたしたちの内側の性情を変化させます——12:1-2. II コリント3:18。
 - D. わたしたちは神聖な命を受けましたが、この命は今やわたしたちの中で働いて、多

- くの事でわたしたちを義とします。これが内側の義認です——マタイ5:6, 20 :
1. そのような主観的な義認を通して、わたしたちの存在と生活は内側にある神聖な命によって義とされます——ガラテヤ2:20。
 2. 神がわたしたちを義とするのは、外側から客観的にだけでなく、内側から主観的にでもあります——ヨハネ14:19. ガラテヤ2:20。
- E. キリストにある信者として、わたしたちはキリストによって、彼の復活において主観的に義とされます——ローマ4:25 :
1. 復活された方として、キリストはわたしたちの中におられて、わたしたちのために、神によって義とされ得る、常に神に受け入れられる生活をします。
 2. 復活したキリストは今わたしたちの中で、絶対的に義である生活、神によって義とされる生活をします——ガラテヤ2:20。
- F. キリストの贖いは、信仰による客観的な義認をわたしたちに与えますが、わたしたちの内側の彼の復活の命は、神による主観的な義認をわたしたちに与えます——ヨハネ11:25。
- G. 神には、キリストによって外側でわたしたちを義とする立場があり、また復活したキリストによって内側でわたしたちを義とする立場もあります——ローマ1:3-4. 5:1。
- H. 今や、わたしたちは神の内容と神の流れ出である命を経験し、命の原則によって生き、命において成長して円熟へと至り、命の中で救われ、命の中で王として支配し、命を供給して、キリストの有機的なからだとしての召会を建造することができます——啓22:1. ヨハネ11:25. ローマ5:10, 17. エペソ4:15-16。